

篠原春雨 しのはら 川柳作家、劇評家。明治十二年五月二十七日山梨縣
甲府生れ、昭和二十一年四月十五日没（八〇—九四）。本名春次。別
號龍耳庵。阪井久良岐（のち久良伎）の節事し、明治三十八年久良岐
社中甲府支社を設立、翌年立机披露會を開き、川柳日月會を興す。
大正三年「山梨日日新聞」記者、五年腦充血發症、爾來全く聾した。
翌年門下生により細工町法華寺に句碑が建てられ、記念誌「春雨翁」
が刊行せられた。次で山梨川柳會を創設して雑誌「新寶曆」を創刊。
また雑誌「現代」、講談俱樂部」等幾多の新聞雑誌に川柳選者を務
め、講談、落語の創作も爲した。初代川柳楯井八右衛門と崇拝、門生
と共に毎年柳翁忌を催してゐた。疎開先で病歿。

著書「春雨句集」（昭和四年八月二十日山梨・春雨句集刊行會）。

